

ちいともやもや
ジェンダー川柳
コンテスト2024

9月10日（火）
募集開始！！

～ 届け！もやもや ～

ジェンダーバイアス解消を本気で考える共感の輪が拡大！

県内企業各社の協賛・協力のもと、県民の気づき・共感を拡大していきます！

県では、昨年度に引き続いて、皆さんが日頃抱いている性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を、川柳の形で募集し、広く発信する「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」を実施します。

五・七・五という短い言葉のメッセージを募り、これを多くの方に届けることで、同じ思いを持つ方の共感を得るとともに、それが思い込みや決めつけだと気づいていなかった方々の気づきにつなげ、「女だから～すべき」「男だから～すべき」といった、性別による固定観念の解消の気運を高めていくことを、ここ広島から目指します！

コンテスト概要

詳細は[こちら](#)から



- (1) 募集内容： 「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したことを、五・七・五の形の川柳で募集
- (2) 募集期間： 令和6年9月10日（火）～令和6年10月14日（月）
- (3) 審査方法： 一次審査を経て、優秀作品を決める二次審査と、特別協賛企業による企業賞審査、共感作品を決める一般投票をそれぞれ実施

① 一次審査

男女共同参画関係団体や大学生等により入賞 30 作品を選考

② 二次審査（優秀作品の選考）

一次審査を通過した作品を対象に、審査員の合議により次の各賞を決定。

【優秀作品】

- 最優秀賞 1点（商品券5万円分）
- 優秀賞 2点（商品券2万円分）
- 審査員賞 1点（商品券1万円分）
- 入賞 22点（商品券2千円分）

〔審査員〕

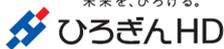
- かみづるひさひこ
・ 上水流久彦（審査員長）：県立広島大学教授、地域基盤研究機構長。広島県男女共同参画審議会委員、専門は文化人類学
- なかしま なおき
・ 中島 尚樹：タレント、コメンテーター。妻の井上恵津子とYouTubeチャンネル「中島家チャンネル」配信中。
- やまだ みゆき
・ 山田 幸：日本放送作家協会中国・四国支部監事、日本脚本家連盟中国・四国支部監事、広島大学特任助教。専門は民事法学、コミュニケーション
- きのした あさこ
・ 木下 麻子：株式会社ひろぎんホールディングス執行役員サステナビリティ統括部長、広島県総合計画審議会委員

③ 企業賞審査

一次審査を通過した作品を対象に、本取組に賛同する特別協賛企業から企業賞の提供を受け、各企業の審査により決定。

併せて、特設サイトにて特別協賛企業の「協賛に寄せる思い」を紹介。

【企業賞】※今年度新設

-  **ひろぎんHD** 「未来を、ひろげる。」賞 1点（賞品1万円相当）
「協賛に寄せる思い」 <https://gendersenryu.jp/sponsor/sponsor01.html>
-  **広島電鉄** 「広島ワクワク」賞 1点（賞品1万円相当）
「協賛に寄せる思い」 <https://gendersenryu.jp/sponsor/sponsor02.html>
-  **FUJI** 「お客様とのつながり」賞 1点（賞品1万円相当）
「協賛に寄せる思い」 <https://gendersenryu.jp/sponsor/sponsor03.html>

④ 一般投票（共感作品の選考）

一次審査を通過した作品を対象に一般投票により1位の作品を決定。

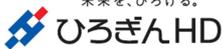
また、投票に協力された方の中から抽選で賞品を贈呈。

- 県民共感度 No.1 賞 賞品（5千円相当）

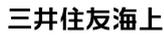
（4）結果発表・授賞式（予定）

- ・ 日時：12月上旬
- ・ 会場：エソール広島（広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階）

（5）協賛企業

【特別協賛企業】  **ひろぎんHD**  **広島電鉄**  **FUJI**

【協賛企業】  **MS&AD**  **あいおいニッセイ同和損保**  **SANFRECCCE**  **NISSAY**  **学校法人 鶴学園**  **広島工業大学**

 **MS&AD**  **三井住友海上**  **三菱食品**  **ヤマト運輸**  **LAWSON**

背景

日本のジェンダー格差（*参考1）は、146カ国中118位と低く、また、本県の状況も、全国的な比較において、ジェンダー平等が進んでいるとは言えない分野もあります。（*参考2）

この状況の背景には、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」（*参考3-1）に代表される、「男だから～、女だから～」という固定的な性別役割分担意識が存在していると考えられており、県では、こうした固定観念の解消を目的に、令和5年度より本事業を開始しました。

初回となった昨年度は、1,600句を超える作品が寄せられ、あらゆる場面で、多くの方に、「もやもや」がひそんでいることが明らかになりました。

また、こうした性別による固定的な役割分担の意識に「影響を与えた存在」について、70%の方が「他者から影響を受けている」と回答（*参考3-2）しており、職場や家庭といった個人を取り巻く周囲の意識も変える必要があることから、今年度は、コンテストの趣旨に賛同いただいた県内企業各社からの協賛・協力を得て、より多くの県民の気づき・共感につなげることを目指します。

【参考】ジェンダーギャップの現状について

1 ジェンダーギャップ指数 - 日本

- 世界各国の男女格差を数値化したジェンダー・ギャップ指数（世界経済フォーラム）の2024年の日本の総合順位は、146カ国中118位。
- 日本は「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」「経済」の値が低い。

2 都道府県版ジェンダーギャップ指数 - 広島県

～2024年都道府県版ジェンダーギャップ指数～

- 政治分野 全国 21位
- 教育分野 全国 1位
- 経済分野 全国 40位
- 行政分野 全国 22位

就業率の男女差	30位
フルタイムの仕事に従事する割合の男女比	36位
フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差	26位
共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差	35位
企業や法人の役員・管理職の男女比	23位
社長数の男女比	10位
農協・漁協役員の男女比	41位

（※上智大学教授などの「地域からジェンダー平等研究会」が試算したデータ。政治、経済、教育、行政の4分野で示す。）

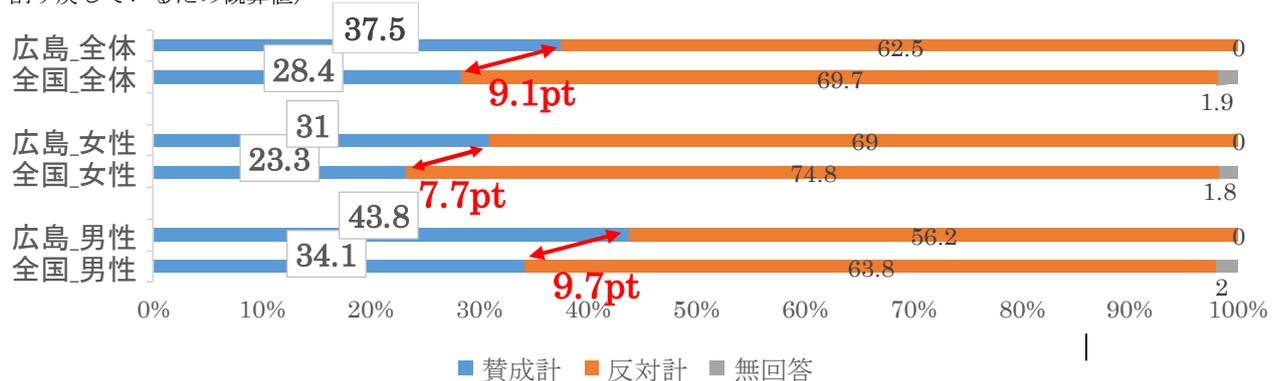
3 広島県の性別による固定的な役割分担意識の現状

当課が実施した「令和6年度 男女双方の意識改革に係る調査」の結果
については[こちら](#)から



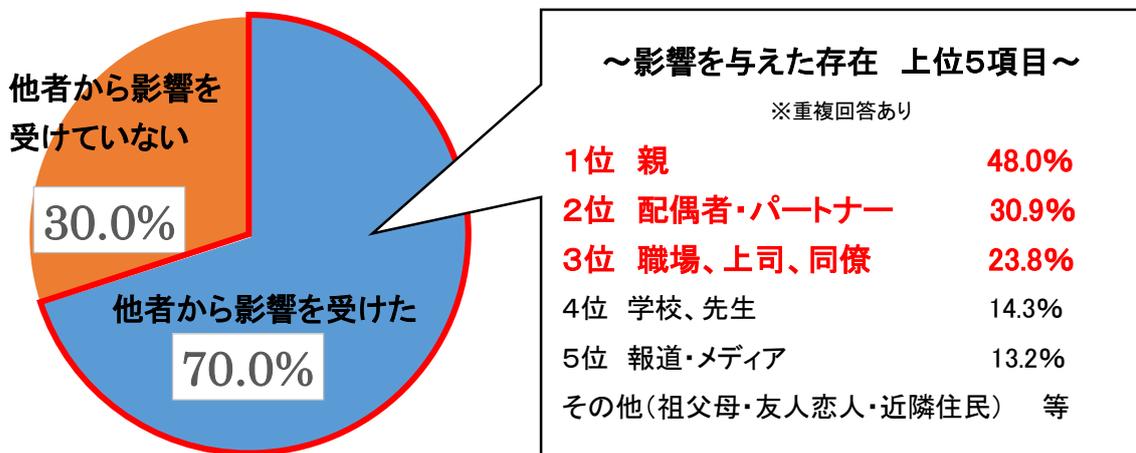
【3-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への意見】

「賛成」「どちらかという賛成」と答えた人の合計は、広島県全体では37.5%となっており、全国と比較して9.1pt 賛成派の率が高く、また、男女別で比較した場合でも同様に広島県の方が賛成派の率が高い。（※広島県は「令和6年度 男女双方の意識改革に係る調査」より、全国は「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年11月調査）」より。なお、全国の数値については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻しているため概算値）



【3-2 性別による固定的な役割分担の意識について、影響を与えた存在】

70%の方が他者から影響を受けていると回答しており、影響を与えた存在としては「親」「配偶者・パートナー」「職場、上司、同僚」の順で割合が高い。（※広島県「令和6年度 男女双方の意識改革に係る調査」より）



【審査員長（県立広島大学 上水流 久彦教授）からの一言】

県の意識調査結果から、広島県は全国と比較して、「夫は仕事、妻は家庭」に代表されるような従来の価値観に対して保守的な意識が強いことが読み取れます。

また、こうした性別に関する意識は、多くの場合、身近な家族や職場等の他者から影響を受けていることも明らかになりました。

今回、民間企業からのご賛同を得てこのコンテストが開催されます。家庭や学校だけではなく、職場からも昨年以上に多くの方々にご参加いただき、「もやもや」を考える場と機会が増えるものと期待しています。今回の取組が広島県全体で「ジェンダーバイアスの解消」を考える気運醸成につながるものと思っています。